

上地流空手 琉志会贈呈式記事

2016/03/29 琉球新報

ある場合に無縁を活用して市民に注意喚起する。市役所で開かれた賞書締結式で同署の當山達也署長と写真左は「緊急を要する事案が発生した

時に、市民に迅速、的確な情報を伝えることができると強調。城間幹子市長は「市民の安心安全が守られる」と歓迎した。

演武会の収益を MESH に寄付

上地流空手「琉志会」

上地流空手道琉球古武道「琉志会」は20日、チャリティー募金演武会を安謝公民館で開き、民間救急へ MESH を運営する NPO 法人メッシュサポートに収益金から5万円を寄付した。写真。



琉志会安謝修武館の道場生ら約100人が参加

し、型の演武を披露した。チャリティー演武会はことしで8回目。これまで難病支援に取り組む NPO 法人アンビシャスなど複数の団体に寄付してきた。

同会の比嘉日奈子さん、安岡中学校2年生は「少しでも多くの方を救えることを願いながら日々、演武会稽古を頑張ってきた。役に立ててうれしかった」と思いを込めた。

長嶺朝一郎館長は「今後もわれわれにできる社会貢献を継続したい」と述べた。